

DUROXITETM

スウェーデンスチールの耐摩耗肉盛鋼板



※写真は SSAB 社のホームページより転載



Duroxite とは

- ▶ SS400 や Hardox450 に耐摩耗性材料で肉盛された鋼板です
- ▶ 耐摩耗性材料も 2 種類が用意されています
- ▶ 使用用途や環境により 4 つのグレードから選択出来ます
- ▶ **耐摩耗鋼板 Hardox が不得意とする滑り摩耗対策に活用出来ます**
- ▶ 表面硬度は HRC55 以上で、肉盛の回数により硬度が変わります
- ▶ 肉盛部の摩耗特性は摩耗試験における重量損失で確認します

特徴

- 衝撃が少ない滑り摩耗に強い耐摩耗肉盛鋼板です
- 肉盛部の厚みが保証されています
- 表面から肉盛部の深さ 75% までの耐摩耗性を保証しています
- 最良な成形性でベースプレートと良好な結合がなされています
- 販売は、**HardoxWearparts** が取り行います

スウェーデンスチール Duroxite の特徴及び性能

グレード	鋼板構造の説明	硬度 (HRC)	使用温度	サイズ	用途	備考
Duroxite 100	超硬合金クロム耐摩耗性材料を軟鋼 (SS400 同等) レベルの一般鋼材に肉盛りした鋼板。肉盛り厚が 1 層から 3 層までのグレードが指定できる	超硬硬度: 1700HK 表面硬度: 1 層 55-57 2 層 59-62 3 層 60-64 (HRC)	多層オーバーレイで最高 350℃ まで耐摩耗性を維持	一般的な 5x10 サイズ 肉盛り厚さはフュージョンラインからの厚み	シュート、ホッパー、ライナー、バケット、ハウジング	CCO の表面硬度が 55HRC を超えると耐摩耗性と硬度の間に強い関係は存在しない、硬度が低い (55HRC より低い) 場合、オーバーレイの耐摩耗性が悪くなります。硬度が高い (55HRC より高い) 場合は、耐摩耗性が向上を示すものではなく、向上する場合もあり、逆に耐摩耗性が下がることもあります。
Duroxite 101	Hardox450 をベースプレートとし、超硬合金クロム材料の肉盛りを施した鋼板。Duroxite100 より高い耐衝撃性を有します		同上 Duroxite 100 よりも高い耐衝撃性を保持。	同上	石炭排出シュート、ローダーバケットライナー、バケット、バケットサイドシュラウド	
Duroxite 200	特殊配合研磨合金材 (Cr、Nb、Mo、V、B などを含む) を SS400 同等の一般鋼材に付着した激しい摩耗性と 600℃ までの衝撃に耐える繊維状カーバイド肉盛り鋼材。	超硬硬度: 2500-3000HK	600℃ まで衝撃に耐える。Duroxite100 より 3-4 倍長寿命	同上	セメント炉部品、焼結プラント部品、ファンブレード、ミキサーブレード、粉砕ロール、高炉ホッパー	
Duroxite 201	特殊配合研磨合金材 (Cr、Nb、Mo、V、B など) を Hardox450 の鋼材上に付着した激しい耐摩耗性と Duroxite200 より高い衝撃性を有した肉盛り鋼材	表面硬度: 60-65HRC	350℃ の温度域で Duroxite210 より高い耐衝撃性を保持。	同上	スクリーン、ボールミルの供給システム、石炭排出シュート、ライナー、バケットサイドシュラウド。	
Duroxite 100 WIRE	過酷な摺動摩耗の対象となるハードフェイスング用フラックス入り溶接ワイヤー。中程度～低衝撃のアプリケーションに対応します	表面硬度: 60-62HRC 3 層デポジット	350℃ の温度域	ワイヤーサイズ Φ 1.6mm		

* 超硬硬度は、ヌーブマイクロ硬度 (HK) での測定です。

* 耐摩耗性を保証とは、ASTM G65 試験での重量損失を保証しています。

